

「県民の声」をつなぐ より大きな受け皿に！

9名の新会派「リベラル群馬」結成

5月議会より、後藤かつみの所属していた「フォーラム群馬（5

県政改革の先頭に立つ
会派を目指す

フォーラム群馬・スクラム群馬統合

名」と「スクラム群馬（4名）」が統合し、新会派「リベラル群馬」を結成しました。
2会派は、これまで様々な県政改革の課題について共同歩調で活動してきましたが、統合により、一層強力



新会派「リベラル群馬」議員団
前列左より、関口茂樹、黒沢孝行、岩上憲司、塚越紀一、大沢幸一
後列左より、角倉邦良、塚原仁、今井哲、後藤克己

県民からの声を幅広く受け止め、それを政策として議会の中で実現するためには、どうしても行動を共にする仲間・同志が多くいることが必要です。
リベラル群馬は、9議員が結束することにより県民の声の「受け皿」としての存在感を高め、皆様の付託に応えるべく奮闘していく決意です。

県民の声を広く受け止め
存在感を更に大きく

な改革の推進力となることを目指しています。既に、「政務調査費」「議員の口利き」「1面参照」「ハツ場ダム」など、これまで言わば「タブー」であった問題に次々にメスを入れている状況が、上毛新聞や各紙群馬欄でも連日大きく報道されております。
これからも、県政を抜本的に改革し、貴重な税金を「県民の目線」で本当に必要な事業に充てていく。本来の議会の役割を果たすために活動を進めていきます。

各地域の現状・課題を報告



パワーポイントによるスライド上映を用いて説明する後藤かつみ

5月10日に榛名（約65名参加）、5月22日に飯塚・飯玉地区（約100名参加）の各地域後援会において県政報告会を開催し、参加した支援者から活発なご意見をいただきました。

榛名地区では、昨年5月の電災害への対応、飯塚・飯玉地区で

飯塚・飯玉、榛名各地域後援会

県政報告会で熱のごもった意見交換

は飯玉踏切周辺の歩行者安全対策など、地域課題への取り組みを中心に報告しました。

参加者からは、榛名地区では「引き続き農業に光のあたる県政を推進して欲しい」、飯塚・飯玉地区では「高齢者の医療・福祉にもっと真剣に取り組んで欲しい」など、県政そして後藤かつみの活動に対する厳しくも暖かい叱咤激励をいただきました。

今後も、各地域を回りながら、皆様のご意見をしっかりと受け止めていく所存です。

